編集後記

ローマ法雑誌第 6 号をお届けします。

今号は、査読付き論文の掲載に至らず、彙報には書評 3 本、前号新設の《ex libris》欄に寸評 1 本、学界動向として国際学会参加記 3 本に加え、前号同様、日本ローマ法研究会の参加記及び大会プログラム・報告要旨集も掲載しました。また、本邦で初開催となる国際学会（SIHDA）第 77 回大阪大会に接し、30 を超える日本からの講演・発表者の多くから概要を、準備委員会から運営者覚書を、司会者・参加者からもその感想を、更に、設営・開催に協力された学生スタッフ諸氏からも体験記を多く寄稿して頂きました。

報告要旨・講演概要の中には、編集委員会事務局の要請に応じ質疑応答や後刻の検討を追記したものもあります。並行開催など物理的に参加不能な発表内容を追体験でき、こうして研究報告のみならず、議論や対話を経て更に分析が深化、活発化すればと考えます。

日本ローマ法研究会第 8 回大会は、回状記載の資料掲載サーバに設定不具合があっただけでなく、当日のオンライン参加用 URL も機能せず、急遽の差し替えを重ねる失態を演じました。お手数をおかけし、失礼しました。対面のみならず海外などオンラインからも意見、質問が相次ぎ、有意義な研究集会となったものと思われます。

国内・国際学会や研究会での報告が、本誌への寄稿など活字化・公刊され広く読まれることで、学界の発展と異分野交流とに資すればと考えます。口頭発表、論文、書評等で議論を喚起し、次なる口頭報告で研究を深化させる理想的サイクルが、本誌を契機に回転し続けることを目指します。編集委員として今号も多大の協力を得た A 氏に感謝します。ご意見など賜りたくお待ちします。（佐々木健）